



なばり

2013年(平成25年) 5月19日発行

主な内容

- 2……住宅や家の中の耐震性を向上させましょう!
- 3……アドバンスコープADSホール催物、年金通信
- 4……東山墓園墓所使用者募集、人権擁護委員にご相談ください

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

地震の備え、大丈夫?

4月13日午前5時33分ごろ、淡路島で震度6弱を観測する地震が起きました。携帯電話などから、緊急地震速報が流れ、驚かれたと思います。また、地震はいつ起こるか分からないと再認識されたのではないのでしょうか。

今号では、地震が起こる前に準備しておきたいことについて、地域防災活動推進員の宮下健がお話します。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

まずは、家具固定から始めてください!

地震はいつ起こるか分かりません。起きてからでは遅いですが、幸いなことに、まだ私たちの住む地域に地震による大きな被害はでていません。今のうちに地震のリスクを考えて備えることが大切です。

まずは、家具固定から始めてください。阪神・淡路大震災では、亡くなった人の約80%が建物や家具の下敷きが原因と言われています。建物が潰れなくても家具は倒れてきます。震度5弱で安定の悪い家具は倒れる可能性があります。特に寝ているときは無防備になりますので、寝室に大きな家具を置かないようにしましょう。最低でも寝ている位置に倒れてこないように配置してください。



地域防災活動推進員 宮下 健



地域の防災訓練に参加しましょう!

お住まいの地域の自主防災組織が主催する防災訓練に参加しましょう。防災に関する知識を深めるとともに、訓練参加者がお互いに顔を合わせ、知り合うことで、災害時の助け合いにつながります。



3日分の水と食料を準備!

災害でライフラインが停止して救援物資や市の備蓄品が届くまでの期間をしのぐため、3日分程度の水、食料を備えましょう。カセットコンロなども準備しておく便利です。

また、避難場所での生活に困らないように必要最低限のものを入れた非常持ち出し袋を準備しましょう。非常持ち出し袋の中身は、例えば、飲料水、非常食、タオル、雨具、薬や救急用品、ラジオ、懐中電灯などです。重さは、大人の男性で約15kg、大人の女性で約10kgが目安です。

「持ち出すべき最低限のもの」と「家の中に備えておくもの」に分けて準備しましょう。



もしものときを家族で話し合う!

災害時に家族が一緒にいるとは限りません。集合場所や連絡方法などを家族で話し合っておきましょう。

- 災害が発生したときの家庭内での役割を決める。
- 避難場所や経路の確認、家のまわりの危険な場所を確認する。
- 災害時の連絡方法や最終の落ち合い場所を決める。



— 家の中、実は危険がいっぱい —

